

KTK

NO.111

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらぐさ後援会

あらぐさ通信

編集 集 あらぐさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215



カタログ製品づくり

Cグループでは、レインボーバッグ、ペットボトルカバーを製作しています。

ペットボトルカバーは、アクリル毛糸を使用し、ニットマシーンで一つ一つ丁寧に編みこんでできた製品です。

今回は、青色と白色のボーダー柄のかわいいカバーです。アクリル毛糸素材ということもあり、とても温かみのあるカバーになっています。



エコ活動の一環として、不要になった場合は、食器洗いとしてお使い下さい。(洗剤なしで洗えます)

販売価格 ¥350

新年明けましておめでとうございます

障害福祉センターあらぐさ 副センター長 小川 貴士

昨年も、行政、企業関係、地域の方々より、多くのご協力や、お声をかけていただき、コロナ禍のなかでも、職員の大きな励みとなりました。ありがとうございました。

昨年は、2年ぶりに開催できた作品展創や地域の販売活動で、地域の方々と直接やりとりができる機会が増え、その中で、温かいお声をたくさんかけていただきました。販売活動を通じて、地域の方々から元気をいただけるとともに、改めて「地域での暮らし」の大切さを感じました。

新年度も「地域で暮らし続けたい」の願いに向かい、職員一同、一層の努力をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

みんなで明るく元気にいこう

まとめのトリは僕がとる



和也さんは34歳。お兄さんと妹さんの3人兄弟です。あらぐさでは、ビーズやフェルトの手芸、園芸の仕事をしています。2年前からケアホームいろどりで生活しています。

おいたち

お母さんの実家がある和歌山市で生まれました。生後26日目、和歌山県立医大で心臓の手術を受け、さらに京都府立医大で先天性白内障による目の水晶体を取る手術をしました。

5歳になり新田や友岡の保育所に通い、加配の先生が付きました。ポニーの学校にも併行通園でできました。保育所に通い出してから和也さんはとても元

気になりました。ポニーの学校ではお母さんたちの友だちができ、今もお付き合いが続いています。この頃には、眼鏡と補聴器を作ってもらいました。両方をつけることは難しく、何度も失くしたり壊したりして苦労しました。その都度、眼鏡はイズミヤのミキ店でお世話になっています。耳のことは、月一回耳鼻科に通い、耳垢を取るなどの治療を受けています。



七五三

就学は、地域の長岡第四小学校へ

地域の中で和也さんが元気に通学していることを皆に知っていて欲しいと思い、長四小に入学しました。当時は、障がい児学級がなく作ってもらいました。3学年上のお兄さんに任せて集団登校ができました。お兄さんが卒業すると妹さんが入学。その時

から数か月間は、お母さんの付き添いで登校をしました。

和也さんは、幼い時から何に対しても興味を持ち、やりたがりの明るい性格でした。手作り作品、歌、踊り、文化祭や体育祭など張り切って頑張る、楽しく障級に通いました。

4、5年生になると文字を教えてもらい名前も書けるようになり、宿題もしていました。でも字の勉強はあまり好きではなさそうでした。

中学校からは向日が丘養護学校へ

和也さんは陽気なムードメーカーで、どんなことでもみんなの先頭に立ち、最後はトリを取ることを意欲的に楽しんでいました。中学部と高等部の時、1年ずつ寄宿舎生活を体験しました。高等部を卒業してからの進路は、あらぐさに定員の余裕がある時期だったので友だちと一緒に入ることができました。

あらぐさへ

あらぐさでは最近、仕事のことでしたい事、したくない事、嫌な事を主張ができるようになってきました。仕事を替えたい時は自分で頼みに行き、室内の仕事を變更し、戸外での園芸の仕事をすることもあります。都合がつかない時は、職員の説明をきちんと聞き、納得し、頑張っているそうです。

あらぐさに来てからは、ケアホームいろどりに入れるまで3事業所のショートステイを利用しました。制度利用ではないですが、学校時代から23歳まで『京都ネイチャースクール(2016年、特定非営利

活動法人ジャパンネイチャースクールに名称変更)』に入っていました。乗馬、スキー、水泳、ミカン狩りなど2カ月に一度程度のペースで参加し、夏は宿泊を伴うキャンプの体験もできました。

楽しみにしている休日の外出

現在、ガイヘル(移動支援)は月に11時間利用できます。サポートセンターあらくさと「にこりん(てくてく)」を利用しています。最近では新型コロナウイルスの影響で、大好きなスーパー銭湯、外食、コンサート、ディズニーランドに行けなくなって、和也さんは全然納得できなかつたみたいです。

これまで月一回、金曜日に桂川イオンに出掛け、ケンタッキーに行くのを楽しみにしています。その日の大谷家の夕食は、フライドチキンになっていて、祖父は「今日はケンタッキーの日やな」と話していました。また、ガイヘルでお風呂に行くのが大好きです。昼食付お風呂ということで、先週やっと嵐山の「天山の湯」に出掛けられました。



ディズニーランドにて

家での暮らし

現在週末は、妹さんとお母さんの3人暮らしです。和也さんは、ジャニーズやミスチルなどのライブが好きで、3人で出掛けます。トイレに課題を抱えているので、サポートが必要。そのため、現地に多目的障がい者用トイレがあると本当にほっとします。

家での楽しみは「お接待」コーヒータイムです。ケーキ、プリン、まんじゅう、シュークリームなどのデザートを用意し快適な時間になっています。その時以外は一切間食はしません。体重55kgがベストなので「お接待」も少々控えめにとっています。

生活の中ではお風呂が長く、大きな声で騒いでいます。1時間以上入っていることもあり、お母さんから大きな声がかります。

今困っていることは、便が緩くて痔があり、トイレの課題が大きいことです。幼い頃からずっと一緒に寝ていた大好きな祖父母が、病院で亡くなったこともあり、病院で治療を受けるのが苦手です。手術ができず、腫れてくると、患部に10本ほど注射をして治療をします。注射は大嫌いで採血や点滴も大変でしたが、最近ではあらくさでインフルエンザやコロナのワクチン接種が受けられるようになりました。皆と一緒にできて良かったです。

3年前、サルモネラ菌に感染し10日間入院。常時付き添いが必要であらくさやサポートセンターあらくさのサポートが入りました。夕方にヘルパーさんも入ってくれて、お母さんは帰宅して仕事をすることができました。

これからのこと

10年前に父親が亡くなり、3年前には祖父母も亡くなり、急遽、成年後見人を申請。何故か、裁判所が決めた人が後見人ということで思うようにいかないこともあり、お母さんにとっては決め方に違和感があります。余裕のある時に、納得できる後見人を先に家族や知り合いの人がなり、相続時だけの後見人を付け、事が済めば元に戻す方がいいのではという意見をお母さんは持っています。

30歳になった時、まだまだ生活にサポートが必要な和也さんのために、10年前の障がい者年金を2級から1級にしてほしいと要望して実現しました。

(取材：前田・森垣・真殿)



ケアホーム

月に一度のお楽しみ



ケアホームいろどりのたちばな棟では、毎月一回最終火曜日に「特別メニュー」として、食べたいメニューを利用者さんに選んでいただいて、発注しています。

この「特別メニュー」を始めたきっかけは、楽しく大好きな物を食べたい、コミュニケーションをとる、お手伝いをしながら食事を楽しむなどの理由からでした。

毎月、利用者さんには好評で喜んでいただいています。今回のメニューは、(ハムカツ、ごぼうサラダ、もずくスープ、キャラメルかぼちゃプリン)でした。あっという間に完食され、皆さん満足そうでした。今後も、利用者さんの意見を聞きながら、続けていきたいと思っています。

マーブリングー筆箋

5枚入り 100円



A グループでは、マーブリングで染めた一筆箋を作っています。利用者一人ひとりが好きな色を選び、手を動かして色を混ぜ合わせたり、ドライヤーの風で混ぜ合わせるなど、得意なことを生かして取り組んでいます。選んだ色や混ぜ合わせ方によって、全て模様が違ってくるため、世界に1枚だけの一筆箋になっています。大切な方へのメッセージなどにぜひお使いください。

創 開催！

2年ぶりに「創17th (Re)～えがおの手しごと展～」を開催することができました。昨年10月2日（土）～4日（月）に産業文化会館1階をお借りして、作品の展示をしました。テーマ展示は、『こころおどる☆あそびごころ～Have fun!～bag・pouch』とし、共通の素材として生成りのポーチを各グループの活動にて加工しています。染め製品や、さをりによる装飾など、日頃手掛けている創作方法で個性の異なるポーチが揃っていました。さをり展示では、自分のコーナーをもって張り切った利用者の姿もありました。DMやポスターを見て来られた方など、3日間で328人の方が来場されました。



三団体様から助成金をいただきました

- ・京都新聞社会福祉事業団様 菓子製造オープン
- ・公益財団法人あすなろ福祉財団様 ケアホームかざぐるまトイレ増設
- ・公益財団法人JKA様 福祉車両

各法人団体様をはじめ、事業の実施にあたり、ご協力いただきました関係各位に謹んで御礼申し上げます。

(前号110号「製品紹介」のコーナーで菓子製造オープンを紹介しています。次号でトイレ、福祉車両を紹介します。)



コロナに負けるな！みんなおいでよ～あらくさ「リモート」ひろば

当選者発表



昨秋実施しました“コロナに負けるな！みんなおいでよ～あらくさ「リモート」ひろば”にたくさんの方からおはがきが寄せられ、ひろばに参加していただきました。ありがとうございました。

福引き抽選会、及びクロスワードパズルの当選者は10月22日の後援会役員会の場で応募者、正解者の中から厳正に抽選を行いました。

当選された方には10月末に賞品をお届けいたしました。（当選者のお名前は、五十音順・敬称略）



福引き抽選会

応募 88 名

クロスワードパズル

(クオカード) 5名

A賞 (さをり織りショール) 10名

塩尻光明・四方政則・嶋本芳輝・中村あさ子
長谷川朋子・前田仁・松浦佳織・三浦朱葉
ヤスイカメラ安井鈴美・匿名1名

クロスワードパズル 正解「ユタカニクラス」

応募 83名 正解 81名

当選者

芦田幸子・神田千秋・中村雄策・丸岡正子・安武梢

B賞 (草木染め・フェルト小物など) 20名

荒木まち子・上田和美・大槻智佐子・大月裕子
かきうちのぞみ・久保節子・生路智子・田上玲子
中野円・中村康弘・廣瀬彩子・前田幸子
増田弘子・松本友貴・丸山彰子・森山正博
八木幸一・藪良蔵・竹下誠・匿名1名

フ	ク	シ	ホ	ウ	ジ	ン
★タ	ワ	シ			★ユ	
リ		マ	ン	ボ	ウ	
ツ	ガ	イ		ラ	ボ	
コ	ラ				ウ	★ス
	★ク	★ラ		★カ	エ	ル
キ	タ	グ	★ニ		キ	メ

C賞 (一筆箋・ビーズ製品など) 30名

荒木満・伊地知洋晃・今井千代子・大江恵子
大久保秀平・菊井誠・後藤真由美・竹下久美
出口龍・中山恵美子・中山千恵子・夏川久子
菱田葉子・福祉保育あらくさ分会・福島緑
古川鐘二・前野久子・増田靖子・松山雅子
三木孝子・水口秋子・三谷文菜・村井悦予
森下洋子・守屋伸江・山口隆史・横内こな
匿名3名

はがきメッセージ

寄せられたメッセージはあらくさ通信別刷りですべてのご意見を匿名掲載しています。

“リモート”で、紙上で会員交流を深めましょう。



あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございます

(2021年8月1日～2021年11月25日 敬称略 順不同)

青嶋芳文 秋山喜美江 浅野晃生 浅野真奈美
 東俊明 荒木満 栗田士郎 栗田紀江 安藤齒
 科医院安藤純夫 石井憲生 石堂宏宜 石原
 洋子 石村和子 伊丹路恵 一箭浩志 伊藤
 卓次 井上世津子 今井三郎 今井正 上田
 和美 江川哲 大石ゆかり 大江潤 大江貴光
 大江延佳 大槻さつき 大月裕子 大畑京子
 小川直 小川貴士 特定非営利活動法人乙訓介
 護サービス 小野田照代 小原明大 医療法人
 社団片岡診療所 香月敬 門野陽子 金森
 たえ子 川瀬明子 河原克美 木田聡 窪島
 敏子 小坂文夫 小高鎮保子 小林圭子 佐伯
 敏子 佐々木成子 佐藤卓利 塩尻光明 志賀
 妙子 四方政則 島津絢子 嶋本芳輝 嶋本
 美恵 (株)シャーロン 新庄佑三 新庄友子
 鈴木千賀子 宋彦一 高橋恭三 高橋すなお
 高橋謙二 高橋祐子 高橋光子 高橋泰子
 多田美智恵 田中栄治 谷早苗 谷口雄一
 谷口奈緒子 長誠一郎 長理恵子 辻野明子

都出祀子 時田麻里 中川政之 中川千津子
 中川綾子 中田あづさ 中谷ちよみ 中村時雄
 夏原典子 西村栄治 西村宗昭 株式会社ハウ
 シングステーション代表取締役山下吉昭 橋本
 さつき 畑健二 羽田純一 波多由紀子 原田
 文孝 ぱんだ企画 ビューティサロンナティ
 岩藤由美子 平岡芳子 平田喜洋 平塚洋子
 平野路予 福井二郎 福島緑 藤本秀延 藤原
 啓子 古川鐘二 ベーカリーセルフフィーユ
 堀医院堀直樹 堀江幸男 前野久子 増田
 康夫 増田弘子 松井幸子 松居正利 松間卓
 松山雅子 丸岡敏夫 丸岡正子 丸岡勇毅
 三浦朱葉 三浦次郎 水野美根子 三田村啓子
 南やすこ 南ゆかり 村田清子 毛利靖子
 森上郷 森山正博 八木勝光 八木千代子
 安田弘 安武梢 安武真理 安松美佐子 藪
 良蔵 藪見富喜男 山中啓三 山根信子 山本
 朝栄 横山和子 吉田美津恵 米本久子 山越
 淑江 匿名 17名

後援会費納入と 2021年度 あらぐさ支援募金のおねがい

・同封の振込用紙をご利用ください。尚、郵便料金の変更により、払込人様に加算料金がかかる場合があります。(同封の「ゆうちょ銀行からのお知らせ」をお読み下さい。)

ご負担をおかけしますが、ご理解の程お願いします。

・後援会費、支援募金には「KTK あらぐさ通信」紙代が含まれています。

・入金と行き違いになりました際にはご容赦ください。



きょうされん 第45次国会請願

署名・募金へのご協力をお願い

「あたりまえに働き えらべる暮らしを ～障害者権利条約を地域のすみずみに～」というスローガンは、あらぐさの理念とも重なる部分があります。全ての人の命と権利が大切にされる社会を目指すため、ご協力をお願いします。

あらぐさと私



ケアホームいろどり 職員

松本 友貴 さん

(まつもと ゆき)



2021年4月からケアホームいろどりでお世話になっています、松本友貴と申します。

私は保育・福祉関係の専門学校を卒業しました。そこでの障害者入所施設での実習が障害者福祉に興味を持つきっかけになりました。また、私には身体障害がある友人がいます。彼女が社会に出る時、身体障害があるために沢山の壁がある、と悩む姿を何度も見ました。それが障害者福祉について学んでいた時期と重なったこともあり、個人の魅力よりも先に障害に目を向けられる事に対して、もどかしさや疑問を強く感じるようになりました。そこから、同じように悩んだり困ったりされている方々の力になりたいと考え、障害のある方々やご家族への支援をする仕事がしたいと思うようになりました。

あらぐさ福祉会とは就職活動をする中で出会いました。あらぐさというどりの見学をさせていただき、利用者さんの生き生きとした姿や職

員の方の関わりを見させていただきました。また、法人のこれまでのあゆみを知り、たくさんの人の思いが詰まったあらぐさ福祉会で働く一員になりたいと思いました。

いろどりに所属し半年が経ちます。初めは戸惑うことも多かったですが、日々利用者さんの存在に元気づけられ、助けられていると感じながら支援にあたっています。また、介護について何も分からないままの入職でしたが、研修にも通わせていただき、技術面でも精神面でも成長して支援に活かして行ければと考えています。

まだまだ未熟で不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかとは思いますが、周りの方々に助けをいただきながらにはなりますが、日中頑張ってきた利用者さんのほっとできる場、安心して過ごせる場を作る一員としてしっかり支援できるよう頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。

1992年6月5日 第3種郵便物承認 (毎月1回25日発行) 2022年1月27日発行
KTK増刊通巻第5210号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会
〒602-8144 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階
京都障病車内 発行人 高谷修 頒価50円 (購読料は会費に含まれています)

KTK

あらぐさ通信